

フォローアップ結果等を踏まえた行動計画の取組の強化

平成26年6月11日

フォローアップ結果等を踏まえ今後特に強化すべき施策

1. 「地域」のポテンシャルを更に活かし、新たな需要を掘り起こす取り組みへの支援強化

(1) 地域経済を牽引する「戦略産業」を創出・育成する

- 地域の戦略産業の創出・育成に向けて、「コネクターハブ企業」など地域の中核となる企業を中心として、大学・研究機関、自治体、金融機関等が広域的に連携し、研究開発から事業化まで推進する体制を構築する。
※「コネクターハブ企業」: 資金を域外から調達し、域内に配分している企業。
- 顧客ニーズに合った製品の開発を促進するため、技術だけでなく、デザイン等まで含めた支援を検討する。
- 地域の戦略産業を担う中小企業・小規模事業者が優れた人材を確保できるよう、人材の発掘から定着まで一貫した支援を行う。
- 中小企業・小規模事業者の海外展開に当たって、JETROなどの関係機関が連携して、現地での販路開拓等をパッケージで支援する。

(2) 「地域資源」を活用したビジネスを促進する

- 消費者の視点を活かしつつ、地域資源を活用した商品・サービスの開発・販路開拓を推進する。
- 観光や農林水産品などの地域資源を活用して、消費者を地域に呼び込むツーリズムを促進する。
- 地域資源のブランド化を推進できる人材の発掘・派遣・育成を進めるとともに、戦略的に観光振興に取り組める体制を整備する。

2. 創業の新たな担い手の創出と次世代へのバトンタッチの円滑化を通じた新陳代謝の更なる促進の促進

(1) 創業を促進し、「新たな担い手」を創出する

- 若者・女性の創業を促進するため、支援機関が連携して、①創業マインドの向上、②地域の相談体制の整備、③円滑な資金供給を進める。
- 子育てや介護などの社会課題に対応したビジネスを促進するため、女性を中心に増加しているNPO法人による起業を支援する。
- 創業に伴う生活の不安を解消するため、創業準備時の失業保険の給付や、兼業や休職による創業を促進する。
- 創業間もない企業に政府調達への参入の機会を提供することで、経営の支援や信用力の向上を行う。

(2) 「次世代へのバトンタッチ」を促す

- 中小企業・小規模事業者の経営者の高齢化等が進む中、事業承継を契機とした既存事業の撤退や新事業展開の促進、後継者不在企業の事業売却の円滑化、商店街の空き店舗の活用やダウンサイジングなどを進める。
- 円滑な廃業や事業承継を促進するため、廃業や役員退職の際に共済金を受け取れる小規模企業共済や、中小企業支援機関の廃業等に係る支援機能を強化する。